

## 音楽係のつぶやき

2016.6.26 兼崎



ハツユキソウ

### ➤ 夜道で(ストドラ・パンパ)

ストドラパンパ Stodola Pumpa は、NHK「みんなのうた」で『牧場の小道』として 1962 年に初回放送されたチェコ民謡(スロバキア民謡)で、その後何度か再放送されています。『牧場に沿いてたどる僕らの若き胸に星は蒼くまたたく美しい夜の道 ヘイ』という歌詞を憶えている方もいるでしょう。

Stodola は納屋や農場、Pumpa は井戸の意味です。Stodola Pumpa は、固有の意味があるというより、「囃子言葉」として使われています。映像には実写で、川崎市と高座郡海老名町(現:海老名市)の風景が使われたそうです。

### ➤ 選曲について

先日の県合唱祭で、「選曲が良い」との評がありました。理由は不明ですが、ジャンルの異なる複数曲を同じステージで取り上げるとき、選曲については「曲の組み合わせの是非」がどうかという見方もされるようです。

風雅が取り上げた 2 曲の特徴と特長を挙げてみましょう。

#### ● 赤い靴

大正時代に作られた童謡で周知の曲。テンポは遅くも速くもない。p 部分が多く、高々mf までの構成。歌詞に地元「よこはま」が織り込まれている。

#### ● 海一かん声をあげて

数年前に作曲された組曲で知らない人が多い。テンポは概して速い。p から ff までダイナミックな構成。向暑の砌にふさわしい。

まだまだ対比できる点があるかと思いますが、特徴では対照的な 2 曲だったと言えます。

選曲に対する評価は極めて主観的なものですから、気にする必要はないけれど、気になるものです。

実は、県合唱祭の選曲は、次のような基準で行ったに過ぎません。

- ① これまでステージで歌っていない曲を組み合わせる。
- ② (組曲+大正の童謡)で合計 7 分未満の演奏時間となる。